



かんたんセットアップガイド

本ガイドでは、xCube-Lite を「インターネットへの接続」、「ISDNの設定」、「電話機の接続」を行いません。

【注意】xCube のバージョン5.30において、「ひかり電話オフィスタ입」ご利用時の推奨端末は、SAXA IP NetPhone SX、MobbyTalk253、MobbyTalk、アナログポート(TEL1、TEL2)となります。その他の端末につきましては今後のバージョンアップにて対応する予定です。

1 xCube-Lite に必要な機器・資料を準備します。

【機器・ケーブル】

以下は xCube-Lite に同梱されています。

- xCube-Lite 本体 (ISDNカード同時購入の方は、本体に装着してあります)
- xCube-Lite 用電源ケーブル
- LANケーブル(白) x 1
- ISDNケーブル(水色) x 2 (ISDNカード装着モデルのオプションとなります)
- 電話ケーブル(黒) x 1
- アース線 x 1

以下はおお客様の環境によって必要になる機器です。

- LANケーブル
- 無線LANアクセスポイント

【xCube-Lite 対応電話機】

以下はおお客様の環境によって必要になる機器です。

- サクサ社製: IP NetPhone SX (固定IP電話機)
- サクサ社製: IP NetPhone SX 用 電源アダプター
- MobileTechnika製: MobbyTalk / MobbyTalk253 (無線IP電話機)
- NTT DoCoMo製: N900iL / N902iL(FOMA / 無線LANデュアル携帯電話機)

【xCube-Lite 設定用パソコン】

xCube-Lite の設定を行うには
Internet Explorer 6 SP2 / Internet Explorer 7 がインストールされたWindowsのパソコンが必要となります。

【ネットワーク接続機器】

以下はおお客様の環境によって必要になる機器です。

- DSU (ISDN回線分)
- スイッチングハブ (PoEハブ (給電ハブ) でも可)
- LANケーブル
- 無線LANアクセスポイント

【電話に関するサービス加入契約書・IDパスワード】

NTT西日本ひかり電話オフィスタ입サービスをご利用になる場合
サービス契約したMACアドレスのxCube-Liteをご用意ください。

ISDN回線をご利用になる場合
ISDN回線の電話番号及び付加サービスの確認してください。
(ご不明な場合は、事前にNTTIに契約内容を確認してください。)

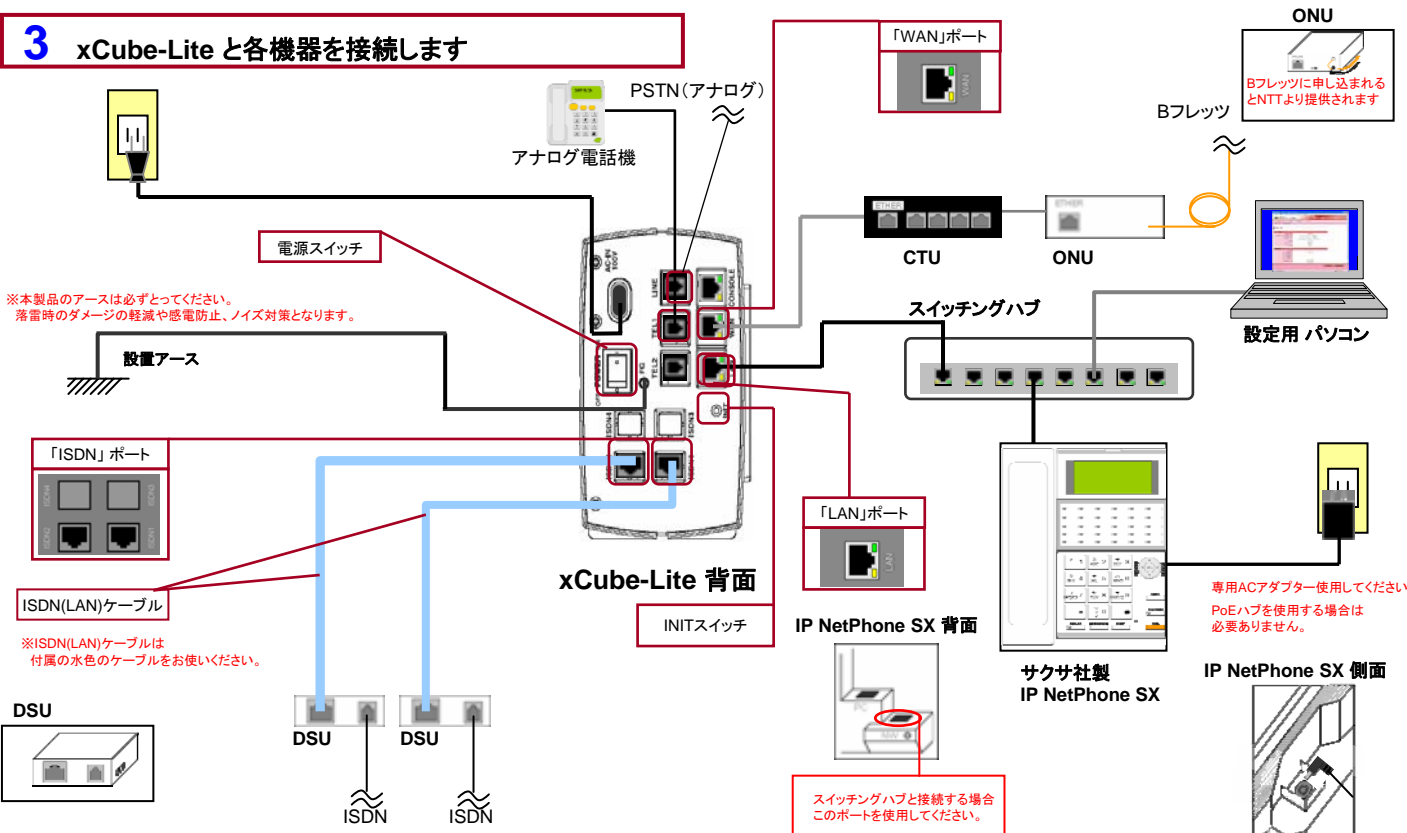
事前に **NTT西日本ひかり電話オフィスタ입 サービス** の契約と
Bフレッツの契約及び工事 が完了済みであることを確認してください。

2 xCube-Lite の電源を入れます。

① 電源をオンにします。

本体背面に電源ケーブル(同梱)を差込み、スイッチをオンにします。正面の電源ランプ が点灯し、約3分で設定の準備が完了します。

3 xCube-Lite と各機器を接続します



① xCube-Liteと接続したパソコンの設定を行います。

設定を行うパソコンのWindowsのスタートメニューから「設定」⇒「コントロールパネル」⇒「ネットワーク接続」を選択します。次に「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択し下図を表示します。

※既に「IPアドレスを自動的に取得する」設定になっている場合は次へ進んでください。

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。

「プロパティ」を押します。

「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

「DNSサーバのIPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

「OK」を押して完了します。

完了しましたら、「ローカルエリア接続のプロパティ」「ネットワーク接続」を閉じてください。

4 xCube-Lite の管理画面にログインします

「事前設定サービス」をお申し込みのお客様以外は設定が必要となります。

① Internet Explorer を起動します。

xCube-Lite の設定を行うには、Internet Explorer 6 SP2 / Internet Explorer 7 を使用してください。

② Internet Explorer に xCube-Lite のIPアドレスを入力します。

(英数半角入力)

「アドレス」バーに、
<http://192.168.1.1/>
と入力し、Enterキーを押します。

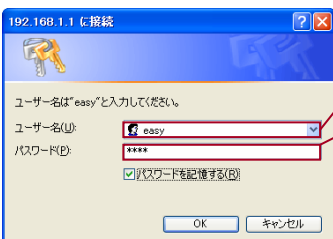
※xCube-Lite の工場出荷時のIPアドレスは192.168.1.1になっています。



③ xCube-Lite の管理画面にログインします。

ユーザ名 : easy
パスワード : easy

と入力し、「OK」を押します。



ユーザ名を入力します。

パスワードを入力します。

5 ウィザードでxCube-Liteの設定を行います

① 「簡単設定ウィザードの開始」を選択します。

管理画面にログインすると下図の管理画面が表示されます。管理画面上部の「簡単設定ウィザードの開始」をクリックします。

IP電話番号情報取得失敗時、ISDN回線のみご利用のお客様は、そのまま「OK」を押してください。IP電話番号をご利用のお客様は、接続成功を確認してから簡単設定ウィザード開始ボタンを押してください。



クリックします。

「詳細設定 (ネットワーク)へ」及び「詳細設定 (PBX)へ」は通常使用しません。

個別に設定される場合は「xCube ネットワーク編 管理者マニュアル」と「xCube PBX編 管理者マニュアル」を参照してください。

各マニュアルは、xCube-Lite に同梱されたCD-ROMに収められています。

② Step 1 : 「インターネット回線接続設定」を行います。

インターネット接続サービスをご利用にならない場合は、「スキップ」をクリックしてください。又、NTT西日本ひかりオフィスタイプでは、CTUでPPPoE接続を行っている場合、xCubeでPPPoE接続を行わなくてもインターネット接続が行えます。

プロバイダから提供される「FUSION提供のアカウント情報」内に記載されています
「接続用ID」
「パスワード」
を入力します。

入力が終わりましたら、「設定して次へ進む」をクリックします。

接続用IDを入力します。

パスワードを入力します。

プロバイダ 提供のアカウント情報

アカウント情報	
ご利用いただきありがとうございます。アカウント情報をお送りいたします。	
サービス種別	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
契約名称	株式会社 ○○○○
属性	○○
基本回線種別	○○ ○○○○
サービス種別	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
接続用ID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
パスワード	XXXXXXXXXXXX
サービス種別	XXXXXXXXXXXX
ご利用種別	○○
ドメイン	XXXXXXXXXXXX
プロバイダ	XXXXXXXXXXXX
IPアドレス	XXXXXXXXXXXX
リバーズDNSサービス	○○

③ Step2: 「ISDNの設定」を行います。

ISDN回線をご利用にならない方は、「スキップ」をクリックし、
[⑦. Step3]へお進みください。

xCube-Lite に接続するISDNの回線番号を入力してください。
入力が終わりましたら、「設定して次へ進む」をクリックします。

回線番号を入力します。
(注) 市外局番とハイフンは
入力しないでください。

けんぱり契約がある場合は
けんぱりの設定をしてください。

ISDN回線1と同様に
ISDN回線2を設定してください。

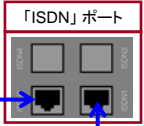
代表番号をご利用の場合は
親番号を選択してください。

スキップ

設定して次へ進む

戻る

対応しています



入力が終わりましたらクリックします。

xCube-Lite 背面図

④ Step3: 「NTT ひかり電話オフィスタ입設定」を行います。

NTTひかり電話オフィスタ입は、自動取得サーバーからダウンロードした
情報により、番号を自動取得します。
番号、及びSIPサーバ設定は自動的に実行されます。
番号、及びSIPサーバ設定は変更 / 修正出来ません。
取得した番号を確認し、「スキップ」をクリックします。
※2番号目までは自動的に表示されます。
3番号目以降はネットワーク詳細設定にて確認してください。

スキップ

クリックします。

戻る

⑤ Step4: 「内線電話機の設定」を行います。

「市外局番」、「IP電話で利用する代表番号」、「ISDNで利用する代表番号」
「受付内線電話(外線発信規制対象)」を選択します。

市外局番を入力します。

(注) 必ず「ISDN」又は「IP電話」の
代表番号を選択してください。

③で設定した
ISDN回線の電話番号や
④で設定した
IP加入電話の電話番号を
指定することができます。

外線への発信を禁止した
電話機の有無を選択します。

受付用の電話機等、
外線への発信をさせたくない
電話機を設定する場合
ご利用ください。

スキップ

設定して次へ進む

戻る

⑥ Step4: 「内線台数選択」を行います。

使用する内線電話機の機種と台数を選択してください。
入力が完了しましたら、「設定して次へ進む」をクリックします。

xCube-Lite (5ライセンス)
を購入されたお客様は
接続可能な電話機を5台まで
利用することができます。

xCube-Lite (10ライセンス)
を購入されたお客様は
接続可能な電話機を10台まで
利用することができます。

合計の台数は
・固定IP電話(サクサ社製)
・ソフトフォン/無線IP電話
・FOMA N900iL / N902iL
・アナログ電話機(TELポート1)
・アナログ電話機(TELポート2)
の合計となります。

入力が終わりましたらクリックします。

設定して次へ進む

戻る

⑦ xCube-Lite の設定を保存します。

「xCube-Lite の設定が終了しました。設定が保存されます。」と表示されますので
「OK」ボタンを押してください。



サクサ社製: IPNetPhoneSXをご利用になる方は、6 に進んでください。

⑧ 設定の完了を確認します

「設定完了」と表示されますので、「再起動」ボタンを押してください。

設定完了

xCube-Lite の設定が完了しました。
再起動ボタンを押してください。xCube-Lite が再起動します。

内線電話機としてモバイルテクニカ製IP電話機(MobbyTalk, MobbyTalk253)、ソフトフォン(MobbyTouch)、及び
NTT DoCoMo製 N900iL/N902iLをご利用の場合は、各内線電話機(ソフトフォンの場合)PC上の電話アプリケーション
に内線番号の設定を行ってください。

設定方法等の詳細は、各製品に添付されているマニュアルをご覧ください。

再起動

クリックします。

⑨ IPNetPhoneSX以外の設定を行います

IP Net Phone SX以外、モバイルテクニカ製無線IP電話機(Mobby Talk, Mobby
Talk253)、ソフトフォン(Mobby Touch)、及びNTTDoCoMo製N900iL / N902iLを
ご利用の場合、各内線電話機(ソフトフォンの場合)PC上の電話アプリケーション)
に内線番号の設定を行ってください。
設定方法等の詳細は、各製品に添付されているマニュアルをご覧ください。

xCube-Liteの再起動が終わったら、8 に進んでください。

6 サクサ社製：IPNetPhoneSX を接続します。

サクサ社製：IP NetPhone SX を利用される場合

専用ACアダプター(別売り)が必要になります。

ただし、IP NetPhone SX は、PoEハブ(給電ハブ)に対応しています。
PoEハブを利用される場合は、専用ACアダプターは必要ありません。

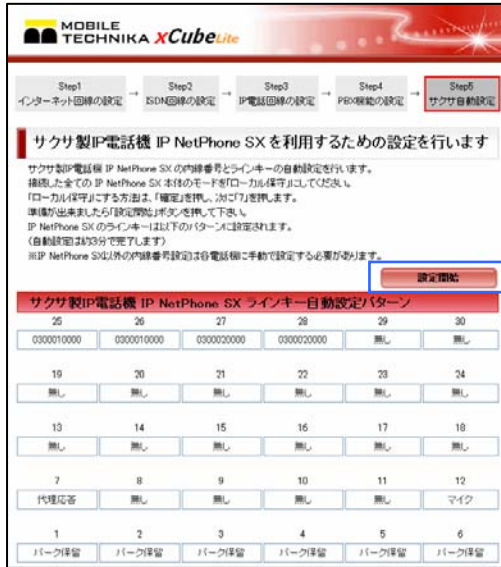
IP NetPhone SX の接続方法は

「2. xCube-Lite と各機器を接続します」を参照してください。

7 サクサ社製IP NetPhone SX の設定を行います。

① Step5：IP NetPhone SX の内線番号の登録と ラインキーの設定を行います。

IPNetPhoneSXの準備が完了するまで
「設定開始ボタン」を押さないでください。



② Step5：サクサ社製：IP NetPhone SX の準備を行います。

※この操作は待受画面、「登録中」、又は「登録失敗」表示がされている状態で行ってください。
「DHCPエラー」の表示の場合、ネットワークに問題があります。
詳細は「SAXA製IP電話機設定マニュアルを参照してください。」

1 電話機の左図のボタンの確定ボタンを押します。

2 電話機のディスプレイに右図の項目が表示されたらダイヤル7を押します

3 電話機のディスプレイに右図の項目が表示されます

※「登録削除中」の表示がされる場合があります。
「ローカル保守」の表示になるまでお待ちください。

この操作は全ての固定IP電話機で同じ操作を行い、
全ての固定IP電話機を、**③**の状態にします。

③ Step5：「設定開始」ボタンを押し、 IP NetPhone SX の設定を行います。

「②サクサ社製：IP NetPhone SX の準備を行ないます」が完了したことを確認し①の画面に戻り「設定開始」ボタンを押してください。
「IP NetPhone SXの「確定」ボタンを押し、次に7を押し、「ローカル保守」と表示するようにしてください」と表示されますが、②で設定してしてますので「OK」ボタンを押してください。

「設定完了」画面が表示されるまで、約3分かかります。



④ Step5：設定完了を確認します。

設定が完了すると、下図のような画面が表示されます。



設定の結果が表示されます。

「再起動」ボタンを押し設定を保存します。

150秒で完了します。

結果が「失敗」になっている場合、以下の操作を実行のうえ再試行ボタンを押下してください。
・サクサ「確定」「7」を押下し、「ローカル保守」モードにする
再起動ボタンを押してください。xCube-Lite が再起動します。

⑤ IPNetPhoneSX以外の設定を行います

IP Net Phone SX 以外、モバイルテクニカ製無線IP電話機(Mobby Talk, Mobby Talk253)、ソフトフォン(Mobby Touch)、及びNTTDoCoMo製N900iL / N902iLをご利用の場合、各内線電話機(ソフトフォンの場合PC上の電話アプリケーション)に内線番号の設定を行ってください。
設定方法等の詳細は、各製品に添付されているマニュアルをご覧ください。

8 設定完了です。



xCube-Lite で使用する内線番号は以下のようになります。

・内線番号は2桁
・各電話機に割り振られる内線番号は

1. サクサ
2. MobbyTalk253
3. MobbyTalk/MobbyTouch
4. N900iL / N902iL
5. TEL1
6. TEL2

の順番で、11番から内線番号を順番に割り当てます。
画像は、ライセンス10台版の例を表示しています。

例) サクサ 4台
MobbyTalk253(15)
MobbyTalk 1台
N900iL 2台
TEL (受付) 1台
の構成の場合の内線番号は、

サクサ (11、12、13、14)
MobbyTalk253(15)
MobbyTalk (16)
N900iL (17、18)
TEL (受付) (19)
となります。